

# 「福島 ST14 号(ゆうやけベリー)」の炭疽病抵抗性は中～弱

福島県農業総合センター 作物園芸部 品種開発科

## 1 部門名

野菜－イチゴ－品種、育種・選抜

## 2 担当者名

三田村春香、宍戸邦明、秋葉未歩

## 3 要旨

本県で育成されたイチゴの新品種である「福島 ST14 号 (ゆうやけベリー)」の子房親である「かおり野」は炭疽病抵抗性を有するものの、「福島 ST14 号」については炭疽病抵抗性の有無がわかっていない。そこで、炭疽病抵抗性を明らかにするため、炭疽病の接種試験を実施した結果、「福島 ST14 号」は「かおり野」ほど強い炭疽病抵抗性はなく、抵抗性は「中～弱」と判断した。

(1) 孢子懸濁液 (*Colletotrichum gloeosporioides*) を接種源とし、イチゴの各品種に噴霧接種した結果、3 週間後の株全体の発病度は抵抗性「中」の「Donner」、抵抗性「弱」の「女峰」の中間であり、4 週間後のクラウンの発病度も同様の結果となった。また、県内の主要品種である炭疽病抵抗性「弱」の「とちおとめ」より、「福島 ST14 号」は炭疽病抵抗性が強い(表 1)。

(2) 炭疽病抵抗性は十分でないため、栽培を行う際は「とちおとめ」と同様に防除を行う。

表 1 イチゴ炭疽病の発病度

品種	株全体の 発病度	クラウンの 発病度	判定
<b>福島ST14号 (ゆうやけベリー)</b>	<b>44.7</b>	<b>20.0</b>	<b>中～弱</b>
(標準・強) 宝交早生	24.0	0	—
(標準・中) Donner	40.7	16.7	—
(標準・弱) 女峰	48.7	28.3	—
(参考・弱) とちおとめ	55.3	39.2	弱
(参考・強) かおり野	24.0	3.3	強

※1 株全体の発病度 = {  $\sum$  (指数別発病株数 × 発病指数) / (調査株数 × 5) } × 100

発病指数: 0; 病徴なし、1; 小葉・葉柄に斑点型病斑あり、2; 小葉・葉柄に拡大型病斑あり、3; 枯死葉柄あり、4; 萎凋、5; 枯死

※2 クラウンの発病度 = {  $\sum$  (指数別発病株数 × 発病指数) / (調査株数 × 4) } × 100

発病指数: 0; 褐変なし、1; 1/4まで褐変、2; 1/4～1/2の褐変、3; 1/2～3/4の褐変、4; 3/4以上の褐変

## 4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和 3～7 年度

(2) 研究課題名 個性豊かな県オリジナル野菜・花き品種の育成〔福島県産農産物競争力強化事業〕

## 5 主な参考文献・資料

(1) なし